

# 大阪狭山市総合戦略の計画期間の延長について

## 1 延長する趣旨・目的

本市では、平成 28 年（2016 年）3 月に、「大阪狭山市総合戦略」を策定し、地方創生を成し遂げるための施策を推進しています。

その後、国においては、令和元年（2019 年）6 月 21 日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」における「第 2 期に向けての考え方」において、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の下に今後 5 年間の基本目標や施策を総合戦略に掲げて実行する現行の枠組みを引き続き維持するため、第 2 期総合戦略を策定し、地方創生のより一層の充実・強化に取り組んでいくこととされました。

地方公共団体においても、国の総合戦略を勘案し、また、基本方針を踏まえ、地方創生の充実・強化に向け、切れ目のない取組みが求められています。

現在、本市では、第四次総合計画の計画期間が令和 2 年度（2020 年度）に満了を迎えることから、令和 3 年度（2021 年度）を初年度とする「第五次大阪狭山市総合計画」の策定に向け、取り組んでいます。一方で、本市の総合戦略は令和元年度（2019 年度）末をもって、その計画期間が満了を迎えます。

そこで、現行の総合戦略の計画期間を 1 年間延長し、第 2 期総合戦略の計画期間の始期を、第五次総合計画と同じ令和 3 年度（2021 年度）とすることで、第五次総合計画の策定に向けた検討と一体的に検討することができるほか、計画策定後も、一体的に進行管理ができるなど、効率的かつ効果的な計画の推進が期待できます。

以上のことから、令和 3 年度（2021 年度）までの間、切れ目のない取組みを進めるため、現行の総合戦略の計画期間を 1 年間延長することとします。

## 2 計画期間の変更等

### 計画期間

現行の総合戦略は、平成 27 年度（2015 年度）から令和元年度（2019 年度）の 5 年間で計画期間としていますが、第五次総合計画と一体的に検討し、策定するため、計画期間を令和 2 年度（2020 年度）まで 1 年間延長します。

	H27	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4
総合計画	第四次総合計画（H23～）					第五次総合計画		
総合戦略	第 1 期総合戦略（H27～）					1 年延長	第 2 期総合戦略	

### 内容

#### 総合戦略の体系

人口の将来展望、基本目標、施策体系は、現行のままとします。

#### 数値目標等

令和 2 年度（2020 年度）の目標値を、次のとおり設定します。

大阪狭山市総合戦略に係る数値目標及びKPI（重要業績評価指標）の達成状況及び令和2年度目標値

数値目標

基本目標	数値目標	目標値・実績値	H26	H27	H28	H29	H30	R1	達成状況	達成状況に対する分析	達成状況を踏まえたR2年度に向けた方向性	1年延長	R2
									直近の実績値/R1目標値		詳細		目標値
1 出産・子育てを支援して若い世代の定住を促す	子育てにやさしい環境づくりの満足度（アンケート）（％）	目標値	-	-	-	-	-	30.0	80.0％	令和元年度実施分では、24.0％が「満足」「やや満足」と回答し、前回調査から0.4ポイント増であった。目標値は達成できなかったものの、子育てにやさしいまちという印象が少しずつ上がってきている。	引き続き、子育てに関する施策・事業を推進していく。		-
		実績値（H26は基準値）	23.6	-	-	-	-	24.0					
	0 - 4歳人口（人）	目標値	-	-	-	-	-	2,475	104.6％	基準年からの4か年において、約200人の増となっている。出生数に対して0-4歳人口が多いことから、0-4歳を含む転入者が多いことが推測される。	平成26年度から令和元年度までの増加率（9.0％）を1年に置き直すと1.8％であったため、令和2年度の目標値は、令和元年度実績の1.8％増の2,640人とする。今後も、安心して出産しやすい環境の整備に向け、全庁的に取組みを推進するとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援などについて、より積極的な情報発信を行う。		2,640
		実績値（H26は基準値）	2,375	2,372	2,395	2,524	2,572	2,589					
2 安心して暮らし続けられる環境を整える	健康寿命（歳）	目標値	-	-	-	-	-	男78歳以上 女84歳以上	-	健康大阪さやま21計画に基づき、市民主体の健康づくり活動を推進しており、健康寿命については、男女とも微増ではあるが、年々延伸できている。	健康大阪さやま21（第2次後期計画）に基づき、引き続き関係機関と連携しながら、市民を中心とした健康づくり活動を展開していく。		男80歳以上 女84歳以上
		実績値（H26は基準値）	男 77.92 女 83.48	男 79.91 女 83.37	男 79.98 女 83.49	-	-	-					
	市民の定住意向（アンケート）（％）	目標値	-	-	-	-	-	80.0	98.5％	令和元年度実施分では、78.8％が市内での定住を考えており、前回調査から2.8ポイント増であった。目標値は達成できなかったものの、定住意向は強くなってきている。	引き続き、広報誌やホームページを中心に、市の魅力を市内外に広く発信し、定住促進と転入者の増加を図る。		-
		実績値（H26は基準値）	76.0	-	-	-	-	78.8					
3 まちの魅力を高めて人を呼び込む	転入者・転出者の均衡（住民基本台帳）（人）	目標値	-	-	-	-	-	0	-	基準年以降の4か年において、転入者の割合が多くなっている。0-4歳を含む世帯の転入者が多いことから子育て世代が流入していることが推測される。	令和2年3月末時点において、227人の転入超過となっており、引き続き、広報誌やホームページを中心に、市の魅力を市内外に広く発信し、転入者の増加を図る。		0
		実績値（H26は基準値）	-111	207	157	423	367	227					
	市民の定住意向（アンケート）（％）再掲	目標値	-	-	-	-	-	80.0	98.5％	令和元年度実施分では、78.8％が市内での定住を考えており、前回調査から2.8ポイント増であった。目標値は達成できなかったものの、定住意向は強くなってきている。	引き続き、広報誌やホームページを中心に、市の魅力を市内外に広く発信し、定住促進と転入者の増加を図る。		-
		実績値（H26は基準値）	76.0	-	-	-	-	78.8					
4 地域経済を活性化して雇用を確保する	小売業事業所数（か所）	目標値	-	-	-	-	-	343	-	市内商業者の高齢化、後継者不足による事業の廃止が見受けられる。	グリーン水素シティ事業を進め、小売業事業所及び従業者数が増加することを見込んでいたが、グリーン水素シティ構想（案）を取り下げたことにより、目標が未達成になることから、数値目標としての設定をしないこととする。		/
		実績値（H26は基準値）	332	-	-	-	-	-					
	小売業従業者数（人）	目標値	-	-	-	-	-	2,675	-	市内商業者の事業の廃止、労働人口の減少が見受けられる。	グリーン水素シティ事業を進め、小売業事業所及び従業者数が増加することを見込んでいたが、グリーン水素シティ構想（案）を取り下げたことにより、目標が未達成になることから、数値目標としての設定をしないこととする。		/
		実績値（H26は基準値）	2,590	-	-	-	-	-					

大阪狭山市総合戦略に係る数値目標及びK P I（重要業績評価指標）の達成状況及び令和2年度目標値

K P I（重要業績評価指標）

基本目標	重点取組	対象	取組内容	取組内容に対する主な成果	K P I（重要業績評価指標）							達成状況に対する分析	達成状況を踏まえたR2年度に向けた方向性 詳細	1年延長	R2目標値		
					評価指標		H26	H27	H28	H29	H30					R1	達成状況 最近の実績値/R1目標値
					目標値	実績値 (H26は基準値)											
1 出産・子育てを支援して若い世代の定住を促す	出産・子育ての支援	市内に居住する子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児の一時預かりや病後児保育など多様なニーズに対応した保育サービスの提供や日常的に必要なおむつ・ベビー用品など、子育てに関する経済的負担の軽減を図ります。</li> <li>・また、これらのきめ細かく、さまざまな子育て支援サービスについて、子育て情報誌などにより、分かりやすい情報提供を行うとともに、利用にあたっての支援を行うことで、子育ての不安解消に努め、若い世代が希望どおりの出産・子育てのできる環境を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠出産包括支援事業として、妊娠届出時や育児パッケージの配付時を活用し、助産師等によるすべての妊婦の個別面談を実施した。</li> <li>・必要な妊婦には産前産後サポート事業や産後ケア事業等による支援を実施した。</li> <li>・プレママプレパパはっとカフェを実施し、妊婦やその夫の交流の場の提供や、妊産婦タクシー利用助成事業による受診の支援等も実施したことで、出産や子育てへの安心につながっていると考えられる。</li> <li>・子育て情報提供事業において、子どもの環境に応じた、教育・保育施設や子育て事業に関わる様々な情報を提供できた。</li> <li>・子育て支援センター「ぼっばえん」と子育て支援・世代間交流センター「UPっば」に専門の相談員「保育・子育てコンシェルジュ」を配置し、利用者支援事業基本型を実施。子どもや保護者、妊婦が、教育・保育施設や子育て支援サービスを円滑に利用できるよう、子育て家庭の個々のニーズにあった相談や助言を行った。</li> </ul>	出生数（人）	目標値	-	-	-	-	-	512	91.2%	出生数は横ばいであるが、0-4歳人口は増加している。要因としては、妊娠出産包括支援事業等の実施により、子育てにやさしいという本市の印象が少しずつ上がってきている。	令和元年度実績は467名であり、目標は未達成であった。令和2年度の目標値を設定するにあたり、平成26年度から令和元年度までの増加率（7.6%）を1年に置き直すと1.52%であったため、令和2年度の目標値は、令和元年度実績の1.52%増の474人とする。今後も、安心して出産しやすい環境の整備に向け、全庁的に取組みを推進するとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援などについて、より積極的な情報発信を行う。	➡	474
					実績値（H26は基準値）	434	448	408	447	443	467						
										保育所待機児童数（人）	目標値	-	-	-	-	0	-
2 安心して暮らし続けられる環境を整える	地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な暮らしを確保するため、地域福祉において重要な役割を担うコミュニティの強化を支援する取組を進め、災害発生時の初動対応、避難及び避難生活における共助といった緊急時の役割、平常時において防犯につながる見守り活動、ご近所の顔が見える交流活動などの充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の通常学級にタブレット端末と大型テレビを導入し、児童生徒の視覚支援に配慮したわかりやすい授業づくりを進めた。</li> <li>・小・中学校に「地域人材バンク」や「さやまっこティーチャー」、「学習支援チューター」等の支援人材を配置し、特色ある教育活動や教育的配慮が必要な児童生徒への支援を行うことができた。</li> <li>・安全安心な学校給食の提供をするとともに、児童生徒への食育を図った。また、児童生徒への5種類9品目の食物アレルギー除去食及び児童へのバイキング給食の提供を行った。</li> <li>・放課後児童会事業の充実を図るため3カ所（東・第七・北）の施設整備を実施し、児童受け入れ体制の量的確保を進めたことにより一定の効果を得た一方、東小学校区においては、想定以上の子育て世代の転入・定住（児童会ニーズの高まり）が見られたため、平成30年度以降、年度当初より待機児童が出ている状況が見られる。</li> </ul>	ICT機器を活用した授業ができる教員割合（%）	目標値	-	-	-	-	-	85.0	97.6%	目標値は下回ったが、ICT機器を活用した授業ができると感じている教員の割合は上昇傾向にあり、ICT機器は授業に欠かせないツールと言えるほど普及してきている。	今後は、パソコン教室に令和元年度に配備されたタブレット端末（デスクトップ兼用）の効果的な活用を研究し、児童生徒主体のわかりやすい授業づくりをさらに進めていく。	➡	85.0
					実績値（H26は基準値）	80.0	81.0	81.0	82.0	83.0	83.0						
										学校園の授業等への外部人材参加者数（人）	目標値	-	-	-	-	830	62.5%
2 安心して暮らし続けられる環境を整える	地域コミュニティの強化による安全・安心のまちづくり	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心な暮らしを確保するため、地域福祉において重要な役割を担うコミュニティの強化を支援する取組を進め、災害発生時の初動対応、避難及び避難生活における共助といった緊急時の役割、平常時において防犯につながる見守り活動、ご近所の顔が見える交流活動などの充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害が発生した場合に、被害を最小限に食い止めるためには地域住民の防災活動が不可欠であることから、自主防災組織の結成への意欲を高め、自主防災組織の組織化の促進に向け、取り組んだ。</li> <li>・自主防災組織の資機材の整備、拡充を図るため、自主防災組織に対し、救出・救護用資機材を貸与した。</li> <li>・地域におけるコミュニティの強化を図るため、地域力活性化支援事業補助金を活用し、各地区で様々な活動に取り組まれているものの、自治会への加入率は、減少傾向にあり、高齢化やライフスタイルの変化などにより、地域コミュニティに対する関心が薄れていることなどが要因と考えられる。</li> </ul>	自主防災組織率（%）	目標値	-	-	-	-	-	80.0	87.1%	新たに結成される自主防災組織もあるが、母数である世帯数の増加により、組織率は横ばいである。目標値が実態とかけ離れているのではないかと考える。	引き続き、自主防災組織率を高めるための事業を実施していく。	➡	80.0
					実績値（H26は基準値）	68.0	70.3	70.0	69.3	69.1	69.7						
										自治会加入率（%）	目標値	-	-	-	-	65.2	87.0%
					しみんのちから登録数（団体）	目標値	-	-	-	-	276	95.7%	平成29年度に活動休止状態の団体等を把握するための調査を行ったため、一時的な実績値の減少はあったものの、地域活動を行う団体は、微増ではあるが増加傾向が伺える。	令和元年度から開催する「ボランティア・市民活動フェスティバル」を継続的に実施することで、地域活動団体の活性化を図るとともに、引き続き、市民活動支援センター活性化事業を支援する。	➡	276	
					実績値（H26は基準値）	267	252	262	256	262	264						

大阪狭山市総合戦略に係る数値目標及びK P I（重要業績評価指標）の達成状況及び令和2年度目標値

基本目標	重点取組	対象	取組内容	取組内容に対する主な成果	K P I（重要業績評価指標）							達成状況	達成状況に対する分析	達成状況を踏まえたR2年度に向けた方向性 詳細	1年延長	R2目標値					
					評価指標		H26	H27	H28	H29	H30						R1				
					目標値	実績値 (H26は基準値)															
2 安心して暮らし続けられる環境を整える	誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくり	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから若者、高齢者まで、市民一人ひとりが、住み慣れた地域で心も体も健康でいきいきと暮らせるまちづくりをめざします。</li> <li>そのため、健康づくりに関する知識の向上とその普及を促進するとともに、幅広くスポーツに親しむ環境を整備します。</li> <li>また、いきいき百歳体操の普及などによる認知症予防や健康な体づくり、社会参加の促進による生きがいづくりを推進するとともに、高齢者が住み慣れたわが家で暮らし続けられるよう在宅医療や介護の充実を推進します。</li> <li>さらに、難病に患っている人やその家族などの交流の機会や相談の場を拡充するなど支援体制の充実を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民自らが健康づくりの担い手となるよう「健康づくり応援団」の養成講座を隔年で実施し、あわせて応援団に登録した人へのステップアップ講座や活動支援を行うことで、健康づくりに関する知識の普及や運動習慣等の市民への健康づくりの啓発につながっていると考えられる。</li> <li>地域住民による主体的な事業運営のもと、全身の筋力アップにつながるいきいき百歳体操を各地区の誰もが気軽に通うことのできる場所で実施した。</li> <li>他の自治体とともに、対象人数が少なく、交流機会の少ない方や支援している家族などに対し、交流会を実施した。</li> </ul>	健康づくり応援団登録者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	60	98.3%	隔年で健康づくり応援団養成講座を実施しているが、登録者が思うように増えなかった。	健康づくり応援団の増員や活動の推進にむけ、養成講座の周知や活動支援を行っていく。		60				
					実績値	-	27	27	41	41	59										
					スポーツ施設利用者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	314,000	85.6%	利用人数については、横ばいとなっているが、土日祝の施設の利用率は高いため、利用人数の増加に向け平日の利用率の向上が課題である。	目標値達成に向け、安心・安全に施設を利用できるよう計画的な施設整備を行っていく。		287,000				
					実績値	286,918	273,510	290,027	288,373	275,411	268,766										
					自立高齢者割合(%)	目標値	-	-	-	-	-	85.0	92.5%	後期高齢者の増加、及び総合事業の開始による事業対象者の増加によりサービス利用者が増加し、本指標が低下した。一方、総合事業における緩和したサービスにより重度化防止には一定の効果が見込める。	介護予防事業や高齢者の社会参加の取組みを進め、自立高齢者の割合低下の減少を図る。		85				
					実績値	81.0	81.0	81.0	82.0	79.4	78.6										
					いきいき百歳体操実施地区数(地区)	目標値	-	-	-	-	-	17	158.8%	高齢者が住み慣れた地域で、健康に暮らし続けるための本取組について、老人クラブ、民生委員、自治会等に向けて周知を図った結果、実施地区が増加した。	地域包括支援センターや、理学療法士会との協力のもと、本取組の推進を継続する。		30				
					実績値	-	1	14	20	24	27										
					難病患者の交流・相談支援参加者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	80	85.0%	平成29年度に河内長野市・富田林市との連携調整を行った結果、体験参加等が増えたため前年比の減少となった。	すでに河内長野市が同様の事業を実施し、連携しているが富田林市も実施の準備を行っているため、更に連携が広域化される。		85.0				
					実績値	38	35	52	99	68	-										
					誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくり	市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の利便性・快適性を向上するとともに、将来にわたる安全性や経済性を配慮し、安心して利用できる社会基盤を維持するため、施設の点検や長寿命化などのマネジメントを推進します。</li> <li>また、良好な住環境を維持するとともに人口の転入を促進するため、民間活力による空き家の活用促進などを進めます。</li> <li>さらに、南河内地域の市町村との事務の共同処理や観光事業の充実を図るなど、広域連携の強化・充実を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの住宅耐震化への取組に加え、平成30年からNPO法人と連携し空き家に関する市民フォーラムを開催。空き家の発生抑制、適切な管理、利活用等の啓発活動を行い意識向上に努めた。</li> <li>地区計画等制度を利用し、良好な住環境の形成を図った。</li> <li>施設の長寿命化として、本市域にある橋梁の点検を行った。(第一シーズン)今後も5年毎に点検を行い、必要に応じた修繕工事を行って行く。</li> <li>広域で取り組むことでの効果や実施体制、方法など、広域共同処理事業について、検証を行うとともに、新たな広域共同処理への事務追加及び連携候補事務に関する調査・研究を行った。</li> </ul>	特定空き家の減少数(件)	目標値	-	-	-	-	-	10	-	基準値設置時は10件の特定空家を想定していたが、これまで特定空家と認められた実績はない。	現時点において、特定空家と認められた建築物はないが、今後、該当する特定空き家があった場合、適切に対処していく。		-
									実績値	0	-	-	-	-	-						
									地区計画・建築協定の誘導件数(件)	目標値	-	-	-	-	-	10	90.0%	基準値設定時は10件を想定していたが、地区計画等の相談や提案が9件であり達成率は90%となっている。なお、9件については地区計画等制度を活用し良好な住環境の形成が図られている。	良好な住環境の形成や維持保全の為、地区計画や建築協定等制度の活用について継続して広報等で周知を行う。		10
					実績値	8	9	9	9	9	9										
					広域連携事務数(事務)	目標値	-	-	-	-	-	50	102.0%	南河内地域市町村間で協議を行った結果、指定居宅介護支援事業者の指定事務を広域連携事務に追加したため、事務数増となった。	南河内地域市町村で、新たな広域連携候補事務を引き続き検証し、広域で取り組むことにより、より効果的・効率的な事務の追加を行う。		51				
実績値	48	48	50	50	51	51															

大阪狭山市総合戦略に係る数値目標及びKPI（重要業績評価指標）の達成状況及び令和2年度目標値

基本目標	重点取組	対象	取組内容	取組内容に対する主な成果	KPI（重要業績評価指標）							達成状況	達成状況に対する分析	達成状況を踏まえたR2年度に向けた方向性	1年延長	R2目標値		
					評価指標		H26	H27	H28	H29	H30						R1	
					目標値	実績値 (H26は基準値)												
3 まちの魅力を高めて人を呼び込む	地域資源を活かしたまちの魅力強化	来訪者、市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境や歴史文化に関して、「体験」「学習」「交流」を目的とした着地型観光1の取組みにより交流人口の増加を図ります。</li> <li>・また、来訪者や本市に関心を持つ人に対し、さまざまな情報を取得することができる環境を整えます。</li> <li>・さらに、市民の地域に対する誇りと愛着を醸成し、このまちに住み続けたいという気持ちが育まれる機会を提供するとともに、市外の大阪狭山市サポーターを増やすため、情報や物産品による交流を拡大します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ARアプリを情報発信ツールとして活用したが、利用状況と維持管理費用などを総合的に考慮した結果、アプリを廃止し、FacebookやLINEといったSNSを活用した発信に努めた。</li> <li>・郷土資料館において、文化財関連の企画展を開催し、本市の歴史文化の魅力を発信した。</li> <li>・平成30年12月から、ふるさと納税総合サイトである『ふるさとチョイス』から寄附いただけるよう受付窓口を増やすとともに、本市のふるさと納税制度のプロモーション強化を図った。</li> <li>・市内に居住する高齢者等を見守るサービスとして、「郵便局のみまもりサービス」を新たに返礼品に追加し、返礼品の充実を図った。</li> </ul>	ARアプリの利用件数(件)	目標値	-	-	-	-	-	5,000	0.7%	アプリの大きな特徴は、狭山池の4か所で起動するAR(拡張現実)システムが搭載されていることだったが、アプリの容量が大きいことなどが障壁となり低調な結果に終わった。また、課題を補うための魅力的な改修を実施できなかったこと、アプリの利用を促進する効果的なPRを行えなかったことも一因と考える。	LINEやFacebookの登録者数や閲覧数が伸びており、ARアプリに代替するPRツールとして無料で活用できることから、費用対効果を考え、ARアプリは平成30年3月末に廃止した。			
					実績値(H26は基準値)	-	48	359	9	35	-	-						
						まちづくり寄附金額(ふるさと納税額)(円)	目標値	-	-	-	-	-	2,500,000	101.6%	寄附受付窓口を増やしたことで、返礼品を充実させたことで、寄附件数・寄附額が増加した。	本市自慢の「さやまのえもん」をはじめ、地場産品や本市内で提供されるサービス等を返礼品に追加し、引き続き魅力ある返礼品を充実させる。		3,200,000
						実績値(H26は基準値)	215,000	1,096,000	3,486,000	2,380,000	2,907,000	2,540,010						
		地域の活力を活かした安心して転入できる環境の整備	転入希望者など(広く市外居住者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入者が本市での新たな生活を安心して始めることができるよう、きめ細やかな情報提供を実施するとともに、市内外へ本市の暮らしの情報や、豊かな自然や歴史・文化を身近に感じ災害等の少ない良好な住環境である市の魅力情報を発信するなどシティセールス活動を充実させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の魅力や概要、情勢をまとめた市勢要覧(市制施行30周年記念誌)を作成するなど、市内外に発信することができた。</li> </ul>	ホームページのアクセス件数(件)	目標値	-	-	-	-	-	700,000	114.3%	平成26年10月に新CMSに切り替えたことにより、各グループからの情報が充実し視認性も向上したことからアクセス件数が伸びた。さらに、FacebookやLINEの運用を始め、ホームページへの流入数の増加につなげたことで目標値を達成できた。	当初の目標では5年で16.7%増、1年で3.35%増であることから、令和元年度の実績値の3.35%増の827,000件とする。CMSの運用にあたってほとんど閲覧されていないページがあるなど全庁的な課題を解決し、市民がより情報を取得しやすいページ作りに取り組みなど質・量両面の充実を図る。		827,000
										実績値(H26は基準値)	599,487	664,834	652,222					
					転入者数(住民基本台帳)(人)	目標値	-	-	-	-	-	2,200	106.2%	基準年以降の4か年において転入者の割合が多くなっている。0-4歳を含む世帯の転入者が多いことから子育て世代が流入していることが推測される。	平成26年度から令和元年度までの増加率(6.7%)を1年に置き直すと、1.35%増であったため、令和2年度の目標値は、令和元年度実績の1.35%増の2,370人とする。令和2年3月末時点において、227人の転入超過となっており、引き続き、広報誌やホームページを中心に、市の魅力を市内外に広く発信し、転入者の増加を図る。		2,370	
					実績値(H26は基準値)	2,188	2,419	2,298	2,486	2,418	2,336							
4 地域経済を活性化して雇用を確保する	市内への企業移転・進出による地域産業の活性化	進出希望企業など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の特性を活かし、再生可能エネルギーの利活用をはじめ、新たな産業分野を担う企業の誘致に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度に環境に配慮し、次世代に引き継ぐことのできるまち「グリーン水素シティ」をめざして作成した「大阪狭山市グリーン水素シティ構想(案)」に掲げられた事業の実証実験などの検討を重ねた結果、課題が多く、また、構想(案)にかかる事業を進めるために市が出資して設立したメルシーforSAYAMA株式会社の経理や「大阪狭山市ため池等太陽光発電モデル事業」の事務手続きに不備があった。</li> <li>・不備がある状態で、新たな事業として事業を進めていくことは困難なことから、大阪狭山市グリーン水素シティ事業プロジェクトチームにおいて、構想(案)を取り下げることにした。</li> </ul>	誘致事業所数(か所)	目標値	-	-	-	-	-	3	-	構想(案)を取り下げることにより、グリーン水素シティ事業を中止した。	構想(案)を取り下げることにより、グリーン水素シティ事業を中止した。			
					実績値(H26は基準値)	-	-	-	-	-	-	-						
						新規雇用者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	50	-	構想(案)を取り下げることにより、グリーン水素シティ事業を中止した。	構想(案)を取り下げることにより、グリーン水素シティ事業を中止した。		
						実績値(H26は基準値)	-	-	-	-	-	-						
		若者や女性などへの就労支援	若者や女性など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者世代の起業や女性の自立支援のため、新たな視点に立った人材育成や起業に関する情報提供などに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労支援講座や、雇用促進広域連携協議会におけるセミナー・面接会を実施するとともに、創業支援事業の取組みを進めた。</li> </ul>	人材育成プログラム受講者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	105	12.4%	目標設定時は、新産業育成事業として、グリーン水素シティ事業と連携した企業誘致を行い、誘致した企業に人材育成を担ってもらうこととしていたがグリーン水素シティ事業が中止となったため、既存の就労支援講座の参加者数のみの実績となった。	就労支援の講座については、ニーズを調査し実施する。創業希望者への支援を充実する。		15
										実績値(H26は基準値)	-	13	15					
	地域産業の魅力向上	市内企業など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶどうをはじめとする都市近郊農業など地域産業の成長・発展を図るため、地域の人材や商工会、金融機関、大学などと連携し、各種産業の競争力強化、経営強化を図ります。また、地場産品等の販路拡大を推進するとともに、商品開発力の強化を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帝塚山学院大学と連携し、大野ぶどうを使用した食品レシピを開発した。</li> <li>・大野ぶどう生産農家と市内飲食店とのマッチング(食材提供)の取組みを行った。</li> </ul>	新規農業従業者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	20	-	新規農業従業者を増やすために、春と秋に野菜講習会を実施しているが営農までには至らなかった。	現時点では新規農業従業者数を1年で20人増やすのは困難であるので、目標値を2人へ変更し、今後も農業従業者の支援を実施するとともに、引き続き特産品のPRを行う。		2	
									実績値(H26は基準値)	-	0	0						0